

令和 7 年度第 3 回高齢者あんしん相談センター運営部会について（報告）

1 趣旨

令和 7 年度第 3 回 高齢者あんしん相談センター運営部会において、業務負担の軽減に向けた方策について検討を実施したため、その概要を報告する。

2 報告内容

(1)開催日時

令和 8 年 1 月 14 日(水)14:00～15:30

(2)高齢者あんしん相談センターにおける業務負担軽減についての検討

①介護予防支援に係るアンケート調査の実施

高齢者あんしん相談センター業務の負担軽減を目的として、介護予防支援におけるケアプラン作成業務について、高齢者あんしん相談センターおよび居宅介護支援事業所を対象にアンケート調査を実施した。

②調査から把握された課題

高齢者あんしん相談センター業務の負担軽減策の一つとして、介護予防ケアプランの作成を居宅介護支援事業所が担うことが挙げられる。しかし調査の結果、介護報酬の低さや業務の多忙さを理由に、当該業務を積極的に受託することが難しい事業所が多く存在することが明らかとなった。

③本市における今後の対応方針

アンケート結果を踏まえ、以下のとおり本市において必要な対応を検討していく予定である。

ア ICT 活用

- ・ケアプランデータ連携システムの活用
- ・デジタル機器導入の検討

イ 体制整備

- ・介護支援専門員を対象とした介護予防支援に関する研修の導入検討
- ・高齢者あんしん相談センターにおける人員配置方法の見直し検討

ウ 書類等の簡素化

- ・契約手続き等の事務負担に関するセンターへのヒアリングを実施し、改善策を検討

④委員からの意見

- ・高齢者人口のみならず、地域の実態に応じたセンター職員の人員配置が必要ではないか
- ・介護予防ケアプランを利用者自らが作成するセルフプランを推奨するかどうか
- ・予防支援が適切に実施され、その結果として要介護状態から要支援状態へと改善した場合、財政の負担軽減につながることから、当該成果に対するインセンティブとして報酬の上乗せを行うしくみはどうか
- ・介護予防ケアプラン作成のためにセンター職員を増員する予算を確保するのであれば、その費用を居宅介護支援事業所へ使うのはどうか

(3)高齢者あんしん相談センター定例会の実施状況について報告

令和 7 年度の定例会における開催目的および意義について確認するとともに、高齢者福祉課とセンター長との間で認識共有および意見交換の場として適切に機能していることを報告した。